

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 大同信号株式会社

上場取引所 東

コード番号 6743 URL <http://www.daido-signal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北原 文夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浅田 安彦

TEL 03-3754-1122

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,412	△8.2	107	△34.9	116	△31.7	59	△28.0
21年3月期第2四半期	6,985	—	165	—	170	—	83	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.36	—
21年3月期第2四半期	4.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	18,477	9,184	49.7	514.40
21年3月期	19,290	9,117	47.3	510.49

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 9,184百万円 21年3月期 9,117百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△6.0	350	△48.1	400	△43.5	250	△36.9	14.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 18,018,000株 21年3月期 18,018,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 163,070株 21年3月期 156,758株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 17,858,078株 21年3月期第2四半期 17,873,965株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響で急激な落ち込みに見舞われた昨年後半の最悪期を脱しつつあるものの、景気回復の足取りは重く、依然として景気の不透明感は拭い切れず予断を許さない厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは受注の獲得と拡大に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、64億12百万円と前年同期比5億72百万円（8.2%）の減収となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業利益は1億7百万円と前年同期比57百万円（34.9%）の減益、経常利益は1億16百万円と前年同期比54百万円（31.7%）の減益、四半期純利益は59百万円と前年同期比23百万円（28.0%）の減益となりました。

(事業の種類別セグメントの状況)

[鉄道信号関連事業]

踏切障害物検知装置・集中監視装置などのフィールド製品及び電子連動装置などは増加しましたが、ATC（自動列車制御装置）、運行管理装置などのシステム製品が減少し、売上高は58億18百万円と前年同期比4億15百万円（6.7%）の減少となりました。

[産業用機器関連事業]

可塑成形、硬化成形は増加しましたが、情報通信機器、化学車制御装置、金属メッキ、金型が減少し、売上高は5億93百万円と前年同期比1億57百万円（20.9%）の減少となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億12百万円減少し、184億77百万円となりました。これは、たな卸資産（製品・原材料・仕掛品）が12億52百万円、投資有価証券が2億25百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が16億36百万円、現金及び預金が4億53百万円、それぞれ減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円減少し、92億93百万円となりました。これは、未払法人税等が2億91百万円、支払手形及び買掛金が88百万円、それぞれ減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、91億84百万円となりました。これは、利益剰余金が65百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が1億33百万円増加したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億77百万円減少し、14億11百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1億88百万円（前年同期は8億1百万円の減少）となりました。

これは、売上債権の回収により16億36百万円資金が増加しましたが、たな卸資産の増加による支出が12億52百万円、法人税等の支払が3億12百万円あったことなどによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1億9百万円（前年同期は2億2百万円の減少）となりました。

これは、有形及び無形固定資産の取得による支出が78百万円あったことなどによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億78百万円（前年同期は1億18百万円の減少）となりました。

これは、配当金の支払が1億24百万円あったことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月19日付当社「業績予想」にて公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想を修正しております。詳しくは、平成21年11月4日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときは、親会社の金額にあわせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の現実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末においては工事進行基準の適用に該当するものがないため、これによる損益に与える影響はありません。

②追加情報

i) 製造管理単位の小口化

当社はきめ細かい生産管理を行うため、当第1四半期連結会計期間から製造管理単位を小口化することにより、仕掛期間を短縮する運用に変更いたしました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末のたな卸資産の金額は、前連結会計年度以前の管理方式によつた場合に比べ、「仕掛品」が451,370千円減少し、「原材料及び貯蔵品」が同額増加しております。

ii) 賞与引当金

従業員への未払賞与については、従来「未払費用」として処理しておりましたが、リサーチ・センター審理情報No.15「未払従業員賞与の財務諸表における表示科目について」に従い、当第1四半期連結会計期間から支給額が確定していない金額については「賞与引当金」として処理しております。

これによる、損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,251	1,939,440
受取手形及び売掛金	4,200,767	5,837,097
商品及び製品	2,905,908	2,711,743
仕掛品	3,450,971	2,870,467
原材料及び貯蔵品	1,027,586	549,523
その他	420,858	419,261
貸倒引当金	△2,523	△3,988
流動資産合計	13,489,819	14,323,544
固定資産		
有形固定資産	1,864,364	1,971,043
無形固定資産	51,170	51,826
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514,922	2,289,427
その他	558,667	655,764
貸倒引当金	△1,187	△1,187
投資その他の資産合計	3,072,402	2,944,004
固定資産合計	4,987,937	4,966,875
資産合計	18,477,756	19,290,420
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,093,903	3,182,851
短期借入金	3,126,847	3,469,841
未払法人税等	33,276	325,130
賞与引当金	364,246	—
役員賞与引当金	—	34,550
その他	540,950	1,319,997
流動負債合計	7,159,223	8,332,370
固定負債		
長期借入金	380,111	89,786
退職給付引当金	1,606,866	1,591,362
役員退職慰労引当金	146,995	158,955
固定負債合計	2,133,972	1,840,104
負債合計	9,293,196	10,172,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	6,018,719	6,083,819
自己株式	△44,851	△43,163
株主資本合計	8,707,624	8,774,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	476,935	343,532
評価・換算差額等合計	476,935	343,532
純資産合計	9,184,559	9,117,945
負債純資産合計	18,477,756	19,290,420

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,985,037	6,412,115
売上原価	5,419,389	4,958,084
売上総利益	1,565,648	1,454,031
販売費及び一般管理費	1,399,771	1,346,124
営業利益	165,876	107,906
営業外収益		
受取配当金	32,590	33,236
その他	7,642	4,316
営業外収益合計	40,232	37,553
営業外費用		
支払利息	35,185	28,232
その他	18	526
営業外費用合計	35,204	28,758
経常利益	170,905	116,700
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,125	1,215
償却債権取立益	300	250
特別利益合計	1,425	1,465
特別損失		
固定資産除却損	—	224
特別損失合計	—	224
税金等調整前四半期純利益	172,330	117,942
法人税、住民税及び事業税	44,840	34,232
法人税等調整額	44,288	23,781
法人税等合計	89,128	58,014
四半期純利益	83,201	59,928

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	172,330	117,942
減価償却費	148,946	167,133
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,364	△1,465
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	364,246
受取利息及び受取配当金	△33,577	△33,795
支払利息	35,185	28,232
固定資産除却損	—	224
売上債権の増減額(△は増加)	542,348	1,636,330
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,086,013	△1,252,731
仕入債務の増減額(△は減少)	85,317	△88,948
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,939	15,503
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△33,055	△11,960
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,017	△41,540
未払費用の増減額(△は減少)	△169,009	△694,538
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,750	△31,215
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△100,895	△14,467
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,560	△34,550
その他	△579	△6,265
小計	△457,255	118,134
利息及び配当金の受取額	33,577	33,795
利息の支払額	△35,185	△28,232
法人税等の支払額	△342,442	△312,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△801,305	△188,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,000	△38,000
定期預金の払戻による収入	14,000	14,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△178,483	△78,386
投資有価証券の取得による支出	△605	△9,810
貸付けによる支出	—	△12,000
貸付金の回収による収入	1,160	14,165
その他	△548	787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,477	△109,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	510,000
短期借入金の返済による支出	△13,000	△510,000
長期借入れによる収入	100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△87,364	△552,669
自己株式の取得による支出	△2,733	△1,688
配当金の支払額	△124,965	△124,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,063	△178,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,121,846	△477,189
現金及び現金同等物の期首残高	3,027,920	1,888,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,906,074	1,411,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

平成21年11月4日

各位

上場会社名 大同信号株式会社
 代表者 代表取締役社長 北原 文夫
 (コード番号 6743)
 問合せ先責任者 取締役 浅田 安彦
 (TEL 03-3754-1122)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月19日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	130	130	70	3.90
今回発表予想(B)	6,412	107	116	59	3.36
増減額(B-A)	△388	△23	△14	△11	
増減率(%)	△5.7	△17.7	△10.8	△15.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,985	165	170	83	4.65

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	650	680	380	21.28
今回発表予想(B)	16,000	350	400	250	14.00
増減額(B-A)	△1,000	△300	△280	△130	
増減率(%)	△5.9	△46.2	△41.2	△34.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,030	673	708	396	22.16

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	90	120	70	3.92
今回発表予想(B)	5,931	10	57	35	1.97
増減額(B-A)	△569	△80	△63	△35	
増減率(%)	△8.8	△88.9	△52.5	△50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,469	95	165	107	6.02

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	550	600	350	19.60
今回発表予想(B)	15,000	300	350	200	11.20
増減額(B-A)	△1,000	△250	△250	△150	
増減率(%)	△6.3	△45.5	△41.7	△42.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	15,977	545	642	383	21.48

修正の理由

第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

第2四半期累計期間の連結及び個別業績につきましては、端境期であるシステム製品の売上の減少を軌道回路機器及び踏切障害物検知装置などのフィールド製品等でカバーできず、売上高は予想を下回る見込みであります。利益面につきましても営業利益・経常利益・当期純利益とも下方修正となる見通しであります。

通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

鉄道業界においては、景気後退に伴うビジネス客の減少に加え、新型インフルエンザ及び高速料金の1,000円への引き下げの影響等により引き続き厳しい経営環境の中、通期の連結及び個別業績につきましては、売上高が伸び悩むものと予想され、また材料価格の高騰及び競争激化に伴う利益率の低下等により、前回公表した予想を売上高・利益とも下回る見通しであるため、予想数値を下方修正することいたしました。

(注)業績予想につきましては、現時点での予測数値であり、将来の様々な要因により変動する場合があります。

以 上